

**製品名: MSI2 (13U1) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe14176**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MSI2
別名	MSI2H; MGC3245; MSI2;
遺伝子 ID	124540.0
SwissProt ID	Q96DH6
免疫原	ヒト MSI2 の合成ペプチド

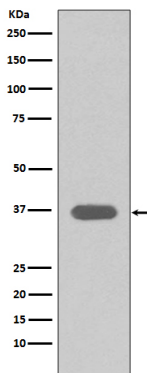
**背景**

Msi2 (musashi homolog 2) は、MSI2Hとしても知られ、細胞質に局在し、2つのRRM (RNA認識モチーフ) ドメインを含む328アミノ酸のタンパク質です。普遍的に低レベルで発現しているMsi2は、RNA結合タンパク質として機能し、標的mRNAの発現を制御することで、中枢神経系における幹細胞の増殖と維持に役割を果たしていると考えられています。Msi2は翻訳後リン酸化を受け、脳損傷に反応してアップレギュレーションされることから、治癒と脳組織の再生に役割を果たしていることが示唆されています。標的mRNAの発現を翻訳レベルで制御するRNA結合タンパク質です。中枢神経系における幹細胞の増殖と維持に役割を果たしている可能性があります(類似性による)。

## 研究分野

-

## 画像データ



T47 D 細胞溶解物における MSI2 発現のウェスタン ブロット分析。